

大切な名前

小 二

わたしの名前は、わたしが生まれたときに、お父さんとお母さんがつけてくれた大切な名前です。

わたしは、この名前をとても気に入っています。わたしがお母さんのおなかの中にいるときから、お父さんとお母さんはわたしの名前について、二人で何回も話し合ったそうです。「二人で一生けんめい考えて、

やっときまった名前なんだよ。」

と教えてもらったとき、わたしは心がぼかぼかあたたかくなつたのをおぼえています。

わたしの大切なこの名前を、同じクラスのAさんがへんなよび方をして、からかってきたことがありました。

わたしはそのとき、すごくかなしくなりました。「お父さんとお母さんがわたしのためにつけてくれた大切な名前なのに、どうしてもそんなよび方するの。」とAさんに言いたかったけ

れど、そのときは、ことばが出
ませんでした。「いやだな。どうし
よう。」心の中で思いながら、何
も言えずにこまっていると、A
さんは近くにいたBさんに、そ
のへんなよび方を教えて、こん
どは二人で、わたしをからかつ
てきました。

今まで、大すきで大切にしてい
いた自分の名前だったのに、そ
のしゅん間、きゆうにはずかし
くなりました。「本当にやめて。」
わたしは心の中でさけびなが
ら、どうすることもできなくて、
そのばしょからいそいではな

れました。そして、たまたま近
くにいたCさんに、そのことを
話しました。Cさんは、

「いやな思いをしているのなら、
やめてつて言ってみたら。」

と言つてくれました。でも、わ
たしは、

「すごくいやなんだけど、はず
かしくて言えない。」

と答えていました。すると、C
さんは、

「じゃあ、わたしがかわりに言
つてあげるよ。」

と言つて、AさんとBさんのと
ころに一人で行つてしまいま

す。そのときは、自分のことばで言えなかつたけれど、こんどからは、自分の大切なものは、自分の力でまもっていきたいと思いました。

し、近くにこまっている友だちがいたら、わたしが友だちの力になって、たすけられるようになりたいと思います。

わたしはその日から、どんなことがあつても、人のことをばかにしたり、からかったりしないようにしたいと思いました。

人が大切にしているものはそれぞれちがいます。その人の気持ちを考えて、ことばやこうどうをえらんでいける人になりたいです。

そして、Cさんのように、も